

■ 関大が誇る偉大なるオリンピック・大島鎌吉に由来 ■
体育振興とスポーツ文化の発展への功績を称える
第26回「大島鎌吉スポーツ文化賞」受賞者が決定
受賞者：片倉道夫氏、宮原知子さんなど 計11名5団体

【授与式日時】3月8日（木）13：00～15：00 【場所】千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

関西大学ではこのたび、広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残した団体および個人に贈る「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」の受賞者を決定し、その授与式を3月8日（木）に千里山キャンパスにて執り行います。

今年度は、「広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人」として、東京オリンピック（1964年）の閉会式のディレクターを務めるなど、長きにわたりスポーツ文化の発展に多大なる貢献をされてきた片倉道夫氏に同賞を授与します。

また本学体育会学生においては、平昌オリンピックで4位入賞を果たしたフィギュアスケートの宮原知子さん（文学部2年次生）、ユニバーシアード大会で優勝した野球部の阪本大樹さん（経済学部4年次生）ほか計10名に、団体の部では、全国規模の大会で優秀な成績を収めたアイススケート部、弓道部、拳法部、なぎなた部、馬術部の計5団体に同賞を授与します。

■ 「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」とは

陸上三段跳びでロサンゼルス五輪（1932年）銅メダルを獲得するなど、スポーツ界において世界的に活躍した本学OBの故大島鎌吉氏の偉業を偲び、1988年に創設した本学が贈る文化表彰。1998年以降、本学体育会の隆盛を図ることを目的に、表彰対象を体育会所属学生に限定していたが、2020年東京オリンピック・パラリンピックムーブメントの機運の高まりとともに、同賞創設の志に立ち返り、2015年度より本学体育会学生以外にも表彰対象を拡大している。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をお願い申し上げます。

記

日時：3月8日（木） 13：00～15：00

場所：関西大学千里山キャンパス 第2学舎BIGホール100

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 阪急「関大前」駅下車徒歩約10分

受賞者（敬称略）：

< 広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人 >

・ 片倉 道夫 計1名

< 本学体育会学生 >

・ 宮原 知子（アイススケート部・文学部2年次生）

・ 阪本 大樹（野球部・経済学部4年次生） ほか 計10名、5団体

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■授与式の概要

日 時：3月8日（木） 13：00～15：00

場 所：関西大学千里山キャンパス 第2学舎 BIG ホール 100

（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 阪急「関大前」駅下車徒歩約10分）

- 次 第：(1) 開会
 (2) 学歌斉唱
 (3) 学長・理事長・校友会長・体育 OB/OG 会長挨拶
 (4) 体育会本部長挨拶 <倉本 頌太郎（サッカー部・法学部3年次生）>
 (5) 体育会学生戦績披露
 (6) 体育会学生受賞者 表彰状及び副賞授与（代表者1名のみ）
 (7) 体育会学生受賞者 代表挨拶
 <大山 清華（なぎなた部・人間健康学部4年次生）>
 (8) 学外受賞者 表彰状及び副賞授与
 <片倉 道夫氏（大阪府レクリエーション協会専務理事兼業務執行理事）>
 (9) 応援歌斉唱
 (10) 閉会

■第26回（2017年度）受賞者 ※敬称略

<広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した個人> （計1名）

氏名	所属	受賞理由
カタクラ ミチオ 片倉 道夫	公益財団法人 大阪府レクリエーション協会 専務理事兼業務執行理事	最初の大島賞制定委員のうちの1人。NHK夏の高校野球テレビ中継第1回の放送ディレクター、東京オリンピックの閉会式のディレクターを務めた。長年に渡り、「する、みる、ささえる」というすべての面からスポーツに携わり、その発展と普及に大きく貢献している。

<本学体育会学生>

◆ 個人の部 （計10名）

氏名	クラブ名	学部・学年	受賞大会名
ミヤハラ サトコ 宮原 知子	アイススケート部	文 2年次生	2017ISUグランプリシリーズアメリカ大会 第86回全日本選手権大会 女子シングル優勝 平昌オリンピック4位入賞
サカモト ダイキ 阪本 大樹	野球部	経済 4年次生	第29回ユニバーシアード競技大会(大学日本代表) 野球競技 優勝
ヌマタ トモヤ 沼田 智也	アイスホッケー部	人間健康 2年次生	第28回ユニバーシアード冬季競技大会(大学日本代表) アイスホッケー競技(男子) 8位
ヤスタカ キラ 安高 きら	スキー競技部	商 1年次生	第29回ユニバーシアード競技大会(大学日本代表) ローラースポーツ競技(女子) 出場
バンドウ 坂東 マリア	拳法部	社会 4年次生	第62回全日本学生拳法選手権大会 最優秀選手賞
イトウ シュンスケ 伊藤 駿亮	少林寺拳法部	システム理工 3年次生	第51回少林寺拳法全日本学生大会 立合評価法男子重量級の部 優勝
ヨシムラ ユカ 芳村 友香	少林寺拳法部	人間健康 3年次生	第51回少林寺拳法全日本学生大会 立合評価法女子軽量級の部 優勝
タナカ ジュン 田中 純	ソフトテニス部	人間健康 3年次生	第59回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会 女子の部 優勝
オオヤマ キョカ 大山 清華	なぎなた部	人間健康 4年次生	第56回全日本学生なぎなた選手権大会 試合競技個人の部 女子優勝
ナカムラ ユウキ 中村 有希	陸上競技部	人間健康 4年次生	2017日本学生陸上競技個人選手権大会 女子100mH 優勝

◆ 団体の部 (計 5 団体)

クラブ名	受賞大会名
アイススケート部	第90回日本学生氷上競技選手権大会フィギュア部門 男子Aクラス 優勝
弓道部	第29回全国大学弓道選抜大会 女子の部 優勝
拳法部	第62回全日本学生拳法選手権大会 女子の部 優勝
なぎなた部	第56回全日本学生なぎなた選手権大会 公開競技男子団体の部 優勝
馬術部	第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会 団体優勝

■ 「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」とは

大島鎌吉氏の生前の功績を称え遺徳を継ぐため、逝去から 4 年後の命日を期し、本学体育会の振興および高揚に資することを目的として、1988 年に本学体育 OB 会が「大島鎌吉スポーツ文化賞」の名称で創設。当初は日本のみならず、国際的にスポーツ文化で活躍された方々を表彰としてきたが、本学体育会の隆盛を図るため、1998 年からは「関西大学体育振興大島賞」と改称し、本学学生に限定して表彰してきた。昨今の 2020 年東京オリンピック・パラリンピックムーブメント推進の機運の高まりとともに、同賞創設の志に立ち返り、2015 年度から「関西大学体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」と改称し、本学学生のみならず、広く社会的なスポーツ文化に貢献し、顕著な実績を残した団体や個人に対しても表彰できる基準を明確化した。

<表彰対象>

- ① 本学体育会会員のうち、顕著な成績を収めた個人または団体
- ② 広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残した個人または団体

<過去の主な受賞者> (敬称略)

- ① 本学体育会会員のうち、顕著な成績を収めた個人または団体
高橋大輔、織田信成、町田樹、宮原知子 (いずれもフィギュアスケート)、
清水希容 (空手)、前川黛也 (サッカー)、八川綾佑 (射撃)、高野芹奈 (ヨット)
- ② 広く社会的なスポーツ文化の発展に貢献し、顕著な実績を残した個人または団体
荒木香織 (ラグビー日本代表メンタルコーチ)、平尾誠二 (ラグビー)

■ 大島鎌吉 (おおしま けんきち) <1908.11.10-1985.3.30>

関西大学校友 (1934 年法学部卒)。陸上選手。JOC 名誉委員。
創立 131 年の歴史の中で、オリンピックに出場した本学のアスリートは延べ 41 人にのぼる (候補選出者も含む)。そのうち、メダルを獲得したのは大島鎌吉氏 (陸上三段跳び、1932 年夏季ロサンゼルス五輪銅メダル)、市口政光氏 (レスリング、1964 年夏季東京五輪金メダル)、高橋大輔氏 (フィギュアスケート、2010 年冬季バンクーバー五輪銅メダル) の 3 人。

大島鎌吉氏は、昭和初期に本学陸上部が第一期黄金時代を迎えたときの主将で、大学在学中にロサンゼルス五輪 (1932 年) で銅メダルを獲得。続くベルリン五輪 (1936 年) では、選手団の主将として出場し、6 位入賞の成績を残した。

選手活動を終えた後は、毎日新聞社の記者としてベルリン特派員を務め、ヒトラーとの単独記者会見やベルリン陥落など、歴史的な場面にも遭遇した経験を持つ。戦後は、東京五輪の選手強化対策本部長や日本選手団団長なども務め、1982 年には青少年教育や国際交流を推進した功績により、アジア人初となる「オリンピック平和賞」を受賞した。



<関西大学年史編纂室提供>